



毎月十五日発行 社会 宗像 大像 定価 1000円

神具、装束、結婚式用品、福間店、株式会社 井筒

沖ノ島神宝修復すすむ

装い新たに返納



六月二十八日(火)午前 一白が、神宝館裏に到着し 九時、美術運搬用トラック

六月二十八日(火)午前 一白が、神宝館裏に到着し 九時、美術運搬用トラック... 沖ノ島神宝の修復事業は、昭和五十五年十一月に...

併せて行う施設でもあり、ここに現状の姿で、永久保存する要目で事業をすすめている。月日が経つのは早いもので、始めてより七年の歳月を過ぎ、今年で八年目に入ります。修復工事は最初から、多量の出土遺物が混入しあうのを避けるため、一年に一度行われるため、基本として行ってきた。今回戻ってきた神宝類は、信教自由権でもプライバシーの権利でも、それは寛容・受忍の精神により裏づけられてこそはじめて尊重され得ると理解するのが、説得力もあり国民常識にも叶っている。

中谷側が全面敗訴

判決は、基本的な人権として精神的自由にかかわる問題と考えられる場合には、少数者の保護という視点に立つことが必要といふもので、マスコミの判決評価でも、この伊藤意見は支持、強調されているのが少なくない。それは机上の一般論として聞けば理のないわけ

判決にただ一人反対した伊藤裁判官の意見は、「基本的人権」として精神的自由にかかわる問題と考えられる場合には、少数者の保護という視点に立つことが必要といふもので、マスコミの判決評価でも、この伊藤意見は支持、強調されているのが少なくない。それは机上の一般論として聞けば理のないわけ... 中谷側が全面敗訴(訴訟・最高裁判決)

関して、文化庁より委嘱を受けている修復技士桜井洋氏を代表する人々が作業をしている工房である。まず一点の水洗いから始まるが、サビや汚れを丹念に取り除き、再度乾燥させ、永久保存用に特殊な樹脂加工を行う。表面だけは不規則な光沢をなくすために、修復作業が完了すると、今後の散逸を防ぐためにも、各々の桐材の台の上に並べ釣糸で固定していくのである。沖ノ島祭祀遺跡出土の遺物の数は、十二万点を数える。全てが国宝と重要な文化財に指定されている。国中の他の遺跡に類をみないような、多種多様な品目と、その数量の多さからも、我が国最大規模の古代祭場であったことは、数度の調査と報告により多くの人々にも知られ、その遺物の豪華さでも例をみない。今、この島は別名を「海の正倉院」と呼び慣わされ、宝の



出光産株式会社 出光 役員 取締役 林 史郎 福岡支店長 福岡市中央区大名2丁目8番26号 TEL 092-761-1831







# 神宮式年遷宮奉賛会

## 宗像支部設立



第六十一回神宮式年遷宮奉賛会支部設立総会は、梅雨入りの田舎も近まった六月十一日、県本部奉賛会より住吉神社宮司横田豊氏が出席、宗像支部の神職、明殿に参集、支部奉賛会規約を決議すると共に役員を選出し、募財にむけて完遂を決議した。

第六十一回神宮式年遷宮奉賛会は昭和六十八年十月に予定されているが、昭和六十八年の第五十九回の御遷宮より時代の趨勢に従い、国民の手により募財活動が行われて来た。此度の御遷宮にあたっては、特に、昭和六十二年一月、神宮大宮司に陛下より、次の遷宮について進めよとの趣旨の御言葉を賜つてより、引続き四月

二十四日、財団法人伊勢神宮式年遷宮奉賛会が設立された。それをうけて、全国的な奉賛体制を固めるため、各都府県に地区本部が次々に結成され、福岡県に於ても、本年、四月二十二日に発足し、本部長に県商工会議所連合会長吉本弘次氏を推挙し、更に神社庁各支部毎に奉賛会を設立する事になったのである。

当日、午前十一時出席者一同、宗像大社神前にて修祓、正式参拝が行われ、清明殿に於て、結成大会が開催された。神宮、皇居遷宮、国歌斉唱、設立世話人の挨拶の後、議事に入り、福岡県本部奉賛会規約の承認、支部役員を選出、事業計画が承認され、ここに神宮宗像地区も募財活動が本格的に始動する事となった。

### 宗像ユリックス開館記念「沖ノ島」公開セミナー開催される



七月一日、宗像市総合市民センター「ユリックス」がオープンした。このユリックス開館記念行事の一つとして、宗像市・同教育委員会は、三日、ハーモニーホールに於て、NHK公開セミナーを開催した。当日は蒸し暑い日であったが、定刻一時半には会場は満席、開会に先立ち、教育委員長丸田一作氏が「市民の皆さんが、家族そろってこのユリックスをオープンケストラを聴くと、その他の催しに参加される等、熱心な御堂としての末永い利用をお願いしたい」と挨拶された。またNHK福岡放送局副部長西野健氏は「昨年福岡への旅・沖ノ島」は好評で、其後再・沖ノ島上映を行っている。今回地元の皆様にも御覧いただき、御理

### 玄海町消防団へ 消防司令車を寄贈

去る五月十三日、当大社神門前で真新しい消防司令車のお祝いが行われた。これは当大社より、玄海町消防団(団長品川昭勝・団員百四十八人)に贈呈された消防司令車のお祝いである。

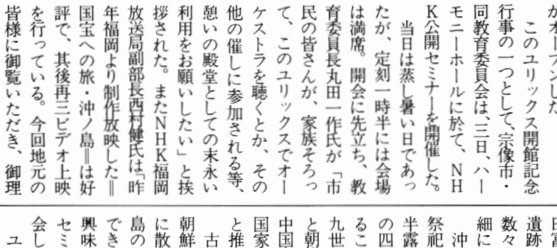
当大社と玄海町消防団との関係は深く、秋の大祭時に於ける境内警備、海上神幸時の神湊警備、陸上パレード参加、又正月三ヶ日の駐車場交通整理等、年間かなりの日数御奉仕をいただいている。

更に、国宝・重要文化財を多数保持する当大社では、文化財防水下の防火訓練を毎年一月下旬に行つてい

るが、この訓練も玄海町消防団との合同で行っている。この様な種々お話しなっている町消防団には、各分団(四分団)にポンプ車一台つづのほか、水上分団にポンプ車一台、又可搬式ポンプが配備されているが、司令車がなかったのが、今回の贈呈となった。

この司令車は排気量一三〇〇ccのライトバンタイプで、赤色灯、スピーカー消火防霧安全機等を装備した、なかなかスマートな消防司令車である。

本殿を参拝した後、当大社兼父宮司より司令車の鍵が玄海町和足田町長に贈られ、司令車と共に団長以



下関係者にお祝いを受けた。今後この司令車は町役場に格納され、消防活動の現場司令はもちろぬ、防火運動の広報PR、当大社秋祭大祭時の陸上パレード等に活躍していった。

司令車は、五月十六日に玄海町で開催された、県の防災総合訓練に参加し、玄海町消防団各車の先導車としてデビューした。

- #### 社務日誌抄
- 六月一日 月次祭
  - 福岡東部災害防止協議会四〇名参拝
  - アジア太平洋博覧会展示スタッフ来社
  - 山口県東部中学校研修旅行三〇名来社
  - 職員会議
  - 六月二日 農林水産省角田伸二氏・九州農政局緒方基之氏外一名来社
  - 国税庁野口卓夫氏・福岡国税局富屋豊吉氏外二名来社
  - 津屋崎小学校社会科見学一八〇名来社
  - 六月三日 福岡東中学校PTA一三〇名来社
  - 六月四日 出光興産福岡支店技術系新入社員参拝入社奉告祭開催
  - 六月五日 宗像ロータリークラブ留学生二〇名・クラブ会員三〇名参拝
  - 六月六日 出光興産名古屋支店三名・販売店店主八名参拝
  - 玄海町老人クラブ一〇名境内清掃・剪定作業
  - 六月七日 文化庁建造物主任調査官宮沢氏・県文化課中矢氏来社
  - 六月八日 宗像市立小中学校PTA四〇名来社
  - 六月九日 出光興産愛知製油所長野藤氏・同総務課長只信氏・福岡支店松本氏参拝就任奉告祭進行

- 皇祖天照大神をお祀りする神宮は国家、国民の本宗であると同時に宗像三女神の親神様であり、宗像大社は古来より真伊勢とも稱されて来た。神宮祭の歴史と伝統の神宮祭の歴史と伝統と生きているのである。神宮の民としての誇りと結果にむけて、募財活動の完遂にむけて熱誠を期待したい。
- 六月九日 伊勢湾シーバー(株)社長大橋剛平氏外一名参拝
- 六月十日 熊本県菊池神社職員坂本泉氏来社
- 六月十一日 神宮式年遷宮奉賛会福岡本部宗像支部設立総会並結成式小倉北区菅原社総代会一八名参拝
- 宗像郡遺族会役員総会
- 六月十二日 第十二回宗像大社小倉百人一首かるた大会
- 六月十三日 N T Tクラブ一行二十二名参拝
- 吉川弘文館関氏・カメラン要氏外一名来社
- 六月十四日 佐賀羽衣会八名参拝
- 六月十五日 東海銀行営業第六課長浜芳樹氏・九州液化瓦斯福岡基地(株)経理課長二宮正明氏参拝
- 六月十六日 新潟県野神社宮司八田元和外総代三〇名参拝
- 六月十七日 福岡県警備部長長坂武次氏・宗像署長森雅仁氏外四名参拝
- 六月十九日 第十二回宗像大社小倉百人一首かるた大会
- 六月二十日 福岡町若木台氏会四五名参拝
- 六月二十一日 門司区和布外十三名参拝
- 六月二十二日 熊本県菊池神社職員坂本泉氏外三名参拝
- 六月二十五日 主基地方風俗保存会総会
- 盆裁展反省会
- 六月二十八日 浦安舞習習(七月一日迄)
- 桜井洋氏外五名沖ノ島神宝修復完了に付返納
- 六月二十九日 福岡東小学校PTA四〇名来社
- 六月三十日 出光興産愛知製油所長野藤氏・同総務課長只信氏・福岡支店松本氏参拝就任奉告祭進行

## 暑中御見舞申し上げます



### 福岡相互銀行

日の里支店  
支店長 佐伯利恭  
宗像市日の里一丁目二九七八  
TEL (094) 366767

赤間支店  
支店長 宮永敏光  
宗像市大字土穴字前田三〇二  
TEL (094) 331334

### 正金相互銀行

自由ヶ丘支店  
支店長 浦志幸男  
宗像市自由ヶ丘五九七五一  
TEL (094) 331332

### 宗像農業協同組合

組合長理事 安部照生  
宗像市大字東郷六一  
TEL (094) 364410

### 福岡県中央信用組合

宗像支店  
支店長 桜井薫  
宗像市大字東郷九四四一  
TEL (094) 361152



